

令和6年度 社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会事業報告

地域住民の様々な生活課題等、地域の特性に応じた福祉活動を推進するため、令和6年度事業計画に基づき地域福祉の推進を図るとともに、酒々井町役場、ボランティア等各種関係団体との連携をさらに深め、住民サービスの向上に努めた。

また、令和5年3月に策定した「酒々井町地域福祉計画・酒々井町地域福祉活動計画」に基づく事業を実施するとともに、地域福祉推進委員会を中心とした計画推進のための検討を行った。

1. 会の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

本会の事業、組織、財政等の健全かつ適正な運営を図るための審議等を行った。

① 理事会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第1回	5月29日(水) 午前10時～	役場分庁舎 多目的室	理事 9名 監事 2名	・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度資金収支決算の承認について ・令和6年度資金収支補正予算(案)の同意について ・理事候補者の推薦について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・定時評議員会の開催について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
第2回	10月17日(木) 午前10時～	役場分庁舎 多目的室	理事 10名 監事 2名	・令和6年度資金収支補正予算(案)の同意について ・評議員会の開催について
第3回	12月23日(月) 午前10時～	中央公民館 会議室	理事 11名 監事 2名	・社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会給与規程の一部改正について ・令和6年度資金収支補正予算(案)の同意について ・評議員会の開催について
第4回	3月17日(月) 午前10時～	中央公民館 会議室	理事 10名 監事 2名	・社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会給与規程の一部改正について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和6年度資金収支補正予算(案)の同意について ・令和7年度事業計画(案)の同意について ・令和7年度資金収支当初予算(案)の同意について ・評議員会の開催について

② 評議員選任・解任委員会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第1回	5月29日(水) 午前11時30分～	役場分庁舎 多目的室	委員 3名	・評議員の選任について

③ 評議員会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第 1 回	6 月 13 日 (木) 午前 10 時～	役場分庁舎 多目的室	評議員 12 名	・令和 5 年度事業報告の承認について ・令和 5 年度資金収支決算の承認について ・令和 6 年度資金収支補正予算（案）の承認について ・理事の選任について
第 2 回	10 月 28 日 (月) 午前 10 時～	役場分庁舎 多目的室	評議員 9 名	・令和 6 年度資金収支補正予算（案）の承認について
第 3 回	1 月 9 日 (木) 午前 10 時～	役場分庁舎 多目的室	評議員 11 名	・令和 6 年度資金収支補正予算（案）の承認について
第 4 回	3 月 27 日 (木) 午前 10 時～	中央公民館 会議室	評議員 10 名	・令和 6 年度資金収支補正予算（案）の承認について ・令和 7 年度事業計画（案）の承認について ・令和 7 年度資金収支当初予算（案）の承認について

(2) 監 査

監 査 名	開催日時	出席者	監 査 事 項
監事監査	5 月 13 日 (月) 午前 10 時～	監事 2 名	・令和 5 年度事業執行状況について ・令和 5 年度経理状況について ・財産管理について
内部会計監査	4 月 24 日 (水) 7 月 25 日 (木) 10 月 23 日 (水) 1 月 27 日 (月)	内部監査 担当理事	・予算執行状況について ・預金口座及び小口現金残高の確認について

(3) 会長・副会長会議の開催

- ・翌月の事業等について、毎月 1 回の開催

(4/24 5/27 6/24 7/25 8/29 9/24 10/23 11/25 12/25 1/27 2/26 3/25)

(4) 関係機関団体との連絡調整

関係福祉団体の運営協力と活動支援を行い、各団体との連携を図った。

① 酒々井町社会福祉施設協議会の事務局として庶務、会計業務を行った。

- ・酒々井町社会福祉施設協議会総会を行い、災害時の対応について意見交換を行った。

(6/25 エコトピア酒々井)

- ・施設間の連携を深めるため懇親会を行った。(10/19 9 事業所 21 名参加)
- ・しすい健康ふくしフェスティバルにて各事業所パンフレット等の展示と就職相談会を行った。
- ・住民の防犯意識の高揚を図るため、佐倉警察署、酒々井町、酒々井町商工会と見守り協定を締結した。

② 民生委員児童委員関連業務

- ・毎月の定例会又は班会議・役員会に出席し、情報交換と連絡調整を行った。

(5) 職員研修の実施・事務局機能の強化

① 職員研修（外部研修）

ア 共同募金会事業関係

- ・ 事務担当者会議 4/25、8/26
- ・ 支会担当者勉強会 5/24
- ・ 支会事務局長会議 7/2、3/4
- ・ 印旛ブロック会議 1/30

イ 日常生活自立支援事業関係

- ・ 日常生活自立支援事業現任専門員研修会 8/5
- ・ 日常生活自立支援事業連絡会議 11/12（オンライン）、2/28（オンライン）
- ・ 日常生活自立支援事業現任・登録生活支援員等研修会 12/2（オンライン）
- ・ KAERU Biz 権利擁護オンラインセミナー 3/3（オンライン）
- ・ 日常生活自立支援事業関係機関連絡会議 3/5（オンライン）

ウ 生活福祉資金関係

- ・ 生活福祉資金貸付新任担当・相談員研修会 4/26
- ・ 生活福祉資金担当者会議 6/12（オンライン）、9/9（オンライン）、
2/26（オンライン）
- ・ 生活福祉資金連携システム操作説明会 6/28
- ・ 教育支援資金事務取扱説明会 9/25（オンライン）
- ・ 生活福祉資金事例検討会 2/3
- ・ 緊急小口資金等特例貸付に関する常務理事・事務局長会議 2/26（オンライン）

エ 日本赤十字社事業関係

- ・ 印旛地区赤十字連絡協議会 6/21、2/26
- ・ 赤十字のつどい東部ブロック大会 12/14

オ ボランティア関係

- ・ 地域福祉・ボランティア担当者研修会 2/7

カ 人権教育セミナー 6/28、11/6

キ 会長・事務局長関係

- ・ 市町村地域福祉担当課長・社協事務局長合同会議 5/30（オンライン）
- ・ 市町村社会福祉協議会事務局長会総会及び第1回研修会 7/5
- ・ 市町村社会福祉協議会事務局長会第2回研修会 11/15
- ・ 市町村社協会長会議 1/15
- ・ 印旛ブロック市町村社協会長・事務局長会議 2/27

ク その他研修

- ・ 能登半島災害ボランティアセンター運営支援 6/3～6/9
- ・ 佐倉青年会議所防災講座 8/28
- ・ 中核地域生活支援センター大会 2024 9/9

- ・町災害対策本部運営訓練 10/19
- ・印旛・香取地区地域災害ボランティア地域ミーティング 10/29
- ・成年後見制度利用促進体制整備地区別意見交換会（印旛地区） 10/30
- ・千葉社協職員連絡協議会 階層別研修 11/26
- ・災害ボランティアセンター運営における kintone の導入に係る説明会 11/26
- ・淑徳大学相談援助実習報告会 2/8
- ・令和6年度千葉社協職員連絡協議会一般研修会 1/31
- ・中核地域生活支援センター連絡調整会議 10/4
- ・佐倉市災害ボランティアネットワーク会議 2/4
- ・市町村長申立て研修会 1/23（オンライン）
- ・いんば圏域福祉関係者合同研修会 11/26
- ・法人後見専門員研修会 3/5（オンライン）
- ・持続可能な権利擁護支援モデル事業実施自治体等連絡会 3/7（オンライン）
- ・佐倉市災害ボランティアセンター運営訓練 3/8
- ・成年後見制度利用促進セミナー 3/10（オンライン）
- ・成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議 3/10（オンライン）
- ・令和6年度能登半島地震等災害支援に係る活動報告会 3/19

② 事務局会議の開催

職員間の意思の疎通と共通理解の促進及び意見交換を目的に12回行った。

(4/1 5/8 6/3 7/8 7/31 9/2 10/7 11/6 12/2 1/8 2/5 3/3)

2. 自主財源の確保

(1) 会 費

会員が納入する会費は本会活動の貴重な自主財源であるため、社会福祉協議会の説明並びに会費の使われ方のPRに努めた。

① 会員数および会費収入金額

会員区分		令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般会費	協力世帯数	2,631世帯 (加入率26.0%)	2,666世帯 (加入率26.9%)	2,787世帯 (加入率28.6%)
	金額	1,315,650円	1,333,050円	1,393,590円
特別会費	件数	295件	306件	298件
	金額	836,000円	842,000円	808,000円
井戸っこ会費	口数	16口	11口	23口
	金額	8,000円	5,500円	11,500円
合 計		2,942世帯・件・口	2,983世帯・件・口	3,108世帯・件・口
		2,159,650円	2,180,550円	2,213,090円

※特別会費協力者に対して「特別会員証」を交付した。

② 自治会・自治会長への説明

自治組織代表者会議において説明した。 4/20

(2) チャリティー事業（令和4年度ふるさとまつり中止）

事業名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
チャリティバザー	159,921円	146,169円	—

(3) 共同募金運動

募金名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
赤い羽根共同募金	1,321,374円	1,410,888円	1,318,798円
歳末たすけあい募金	741,955円	713,204円	801,754円

(4) 「ふくしの箱」・寄附金の状況

種別	令和6年度	令和5年度	令和4年度
ふくしの箱	18か所	19か所	18か所
	38,854円	40,162円	72,169円
一般寄附金	51件	54件	53件
	838,554円	536,809円	476,517円
社会福祉振興基金 積立金寄附金			

(5) 社協しすい広告掲載料 4社 80,000円

(6) 自動販売機（5台）設置収益 426,821円

3. 広報事業

(1) 社協広報紙「社協しすい」を4、7、10、1月の各1日に発行した。

発行部数 4,750部

新聞折込み数 4,400部

(2) ホームページ・SNSでの情報提供

ホームページの内容の充実を図ったほか、Facebook、X（旧twitter）等のSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、幅広い年齢層への情報提供を行った。

4. ボランティア活動の推進と育成

(1) ボランティア活動の推進

酒々井町ボランティア協議会に登録されているボランティアは、7グループ117名、個人22名（内 災害ボランティア5名）の計139名で福祉ニーズに応じ、それぞれの活動を行った。

① 給食サービス「菜のはな会」

調理に携わるボランティア38名（栄養士1名を含む）は3班に編成されており、配食ボランティアとして活動している会員は6名である。

② 朗読奉仕グループ「虹」

会員7名で、目の不自由な方等に社会福祉協議会広報紙「社協しすい」、町広報紙「ニューしすい」等をCDに録音し、配布した。

③ 手話を学ぶ会「仲間」

会員22名で、聴覚障害者の方との交流を深めるとともに、手話技術の向上と普及に努めた。

④ 明るい社会づくり運動北総協議会酒々井支部

会員14名で、使用済切手の整理、また地域の美化運動としてゴミ収集活動、小中学生を対象としたポスター作品展を実施した。

⑤ 更生保護女性会

会員7名で、女性の持つ温かさや細やかさを活かし、犯罪予防と非行に陥った青少年の更生保護活動として、しおりの配布や施設へのバレンタインチョコの配布を行った。
また、子育て世帯を対象にミニ集会を開催した。

⑥ 傾聴ボランティア「かざぐるま」

会員12名で、毎月第1金曜日のふれあいサロン「かざぐるま」及び出張サロンに協力している。

⑦ 住みよい酒々井をつくる防災の会

千葉県災害コーディネーター養成講座修了者及び防災士資格者の会員11名が、地域の防災講座等で講師や指導を行った。

(2) ボランティア協議会活動の推進

- ① 運営委員会の開催 12回（うち5月は総会）
 広報委員会の開催 2回

② 「千葉県ボランティアのつどい」の周知（2月2日、3日開催 1名参加）

③ 視察研修の開催

町内ボランティアの交流及び意欲向上を図るため開催した。

視察場所：旭市防災資料館（旭市）

参加者数：23名

④ 印旛地区ボランティア交流会の開催（当番：酒々井町）

印旛ブロック内のボランティア同士の情報交換及び交流の場として開催した。

日時：10月25日（水）13：30～15：30

場所：中央公民館 参加者：5市町・31名（うち酒々井町15名）

内容：「ボランティアのこれからについて」をテーマとした講義、グループワーク

講師及びコーディネーター：千葉県ボランティア連絡協議会会長 渡邊 千代美氏

(3) ボランティア入門・専門養成講座の開催

講 座 名	開 催 日	場 所	参加者数
夏休み！親子 ボランティア講座 (※社協と共催)	7月31日(水) 8月8日(木)	中央公民館	延べ 57名
中・高生向け ボランティアスクール (※社協と共催)	7月25日～ 8月22日 (延べ10日間)	中央公民館 プリミエール酒々井 宗吾霊堂周辺 大ちゃん学童クラブ	延べ 38名
傾聴入門講座	1月17日(金)	中央公民館	9名
防災講座	3月8日(土)	中央公民館	32名
つくって体験！ 菜のはな弁当 (調理体験会)	3月13日(木)	中央公民館	21名

5. ワンコインサービス事業

高齢者や障がい者等のいる世帯で、日常生活の「ちょっとした困りごと」を、地域の登録ボランティアが代わりに行う有償のボランティアサービスを行った。

ボランティア登録者数	利用回数	サービス内容	回 数
34名 (内、活動者9名)	406回	ごみ出し	405回
		風呂場フィルター交換	1回

6. ふれあいサロン事業

傾聴ボランティア「かざぐるま」の協力により、誰もが気軽に集まり、楽しく交流できる場『ふれあいサロン「かざぐるま」』を提供した。

(1) ふれあいサロン「かざぐるま」の開催(毎月第1金曜日)

開催回数 全12回 利用者数 延べ145名

(2) 出張サロンの開催

開催日	開催場所	利用者数	内容
9月20日(金)	尾上青年館	16名	・ふれあいサロン ・ミニ講座「フレイル予防」 (地域包括支援センター)

7. 在宅福祉推進事業

(1) 生活援助用具の貸出し

車いす	電動ベッド	シルバーカー	杖	歩行器	合 計
27件	6件	4件	2件	2件	41件

(2) 生活援助用具購入助成

介護認定等を受けている方で生活に必要な補助用具の購入に対し、1世帯につき年1回助成（限度額5万円補助率2/3）するもの。（※令和6年度は助成申請者無し）

助成件数	助成内容	助成金額
0件	—	0円

(3) 給食サービス

ひとり暮らし高齢者を中心とした、75歳以上の食事の支度が困難な方に対し、ボランティア団体「菜のはな会」により、毎月第1、3、4木曜日に手作りの昼食を配布した。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
対象者	60名	59名	57名
配食回数	33回	31回	31回
配食数	1,519食	1,561食	1,499食
利用負担額	303,800円	312,200円	299,800円

(4) ひとり暮らし高齢者への「年賀状」の送付

ひとり暮らしの高齢者に有志ボランティアが作成した年賀状を送付することで、孤独感の解消や「何か困ったときの相談機関」としての社会福祉協議会の認知度の向上を図った。

対象：歳末おせち配布者及び給食サービス対象者

実績：計 231名

(5) 朗読サービス

ボランティア団体朗読奉仕グループ「虹」により、目の不自由な方等に社協の広報紙、町広報紙等をCDに録音し、配布した。

対象者 2名

録音回数 20回（社協しすい 4回、広報ニューしすい 12回、議会だより 4回）

8. 高齢者福祉事業

高齢者が健康で豊かな生きがいのある生活を送れるよう支援することとして諸事業を支援した。

(1) 水仙クラブ連合会事務局の運営

① 町水仙クラブ連合会事業

クラブ数 18クラブ・会員数 266名

主な事業：作品展、ハイキングの実施、総会、役員会の開催

② 印旛地区高齢者クラブ連合会事務局の運営及び事業への参加

③ なのはなシニア千葉（千葉県老人クラブ連合会）事業への参加

(2) 老人福祉大会の開催

9月15日の敬老の日に町との共催により88歳並びに80歳対象者を招待し開催した。(出席者：88歳57名、80歳54名)

(3) 88歳長寿者の顕彰

老人福祉大会に併せて88歳長寿者をお祝いし、記念品を138名に贈呈した。

9. 児童福祉事業

町子ども虐待防止対策協議会との連絡調整や実務者研修(6/17、10/21、2/18)に参加し、関係機関との連携を図った。

10. 障がい者(児)福祉事業

障がい者(児)の福祉の増進と障がい者(児)に対する正しい理解の普及に努めた。

(1) 町心身障害者福祉会事務局の運営

令和5年度総会において、役員選出が困難となり休会中。会員の親睦を図るため「ひなげしの会」への参加を周知した。

(2) 「手をつなぐ親の会」の活動支援

クリスマス会等の活動を支援した。

(3) 「ひなげしの会」の開催

町内の障害のある方同士の交流を深めるための交流会を開催した。7/26 26名参加

11. 福祉教育の推進

夏休みにボランティアスクールを開催し、児童、生徒が福祉に対する関心と正しい理解を深めてもらうための支援を行った。

(1) 夏休み！親子ボランティア講座(町内在住在学の小学生の親子対象)

開催日	参加者	講師	内容
7月31日(水)	33名	順天堂大学 松山ゼミナール学生	パラスポーツで障がいを学ぼう！ (ゴールボールとボッチャの体験)
8月8日(木)	24名	栄養士 小別当 ひろ子さん (協力：菜のはな会)	つくってみよう！からだにやさしい おべんとう(給食サービス調理体験)

(2) 中学生・高校生向けボランティアスクール(町内在住在学の中学生及び高校生対象)

開催日	参加者	場所	内容(協力団体名)
7月25日(木) 8月8日(木)	延べ 9名	中央公民館	手話勉強会への参加 (手話を学ぶ会「仲間」)
7月30日(火)	1名	プリミエール 酒々井	朗読・音訳体験(朗読奉仕グループ「虹」)

8月 1日(木) 15日(木)	延べ 4名	中央公民館	給食サービス調理ボランティア体験 (給食サービス「菜のはな会」)
8月 5日(月) 19日(月)	延べ 11名	大ちゃん 学童クラブ	学童保育ボランティア体験 (大ちゃん学童クラブ)
8月22日(木)	13名	宗吾霊堂周辺	環境美化活動への参加 (明るい社会づくり運動北総協議会酒々井地区)

12. ひとり親家庭支援事業

白ゆり会と協力し、ひとり親家庭同士の交流を深めるための事業を行った。

(1) 白ゆり会(町母子寡婦福祉会)活動への支援

(2) クリスマス会の実施 12/22 20名参加

13. 共同募金事業

広く社会福祉事業に対する住民の意識を高めるとともに、地域自治会の協力により募金を実施し、配分した。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月から12月に自治会を経由し、1世帯500円を目安に募金の協力をお願いした。

また、酒々井町役場での職域募金、酒々井町赤十字奉仕団及び大室台小学校児童の協力により、共同募金運動の周知と併せて街頭募金を実施した。

実施日	実施場所	街頭募金活動協力者	実績
10月 1日(火) 2日(水)	ナリタヤ酒々井店 タイヨー酒々井店 JR酒々井駅 京成酒々井駅	酒々井町赤十字奉仕団 (18名参加)	ナリタヤ : 12,098円 タイヨー : 14,284円 JR酒々井駅 : 7,530円 京成酒々井駅 : 8,267円
10月22日(火) 23日(水)	大室台小学校 校門前及び 各教室	大室台小学校 学校生活委員会の児童	12,239円

(2) 歳末たすけあい募金運動の実施と配分

12月に自治会を経由し、1世帯200円を目安に募金の協力をお願いした。

[配分]

① 75歳以上ひとり暮らし世帯へのおせち料理の配布

231名 780,433円

② 社会福祉法人へ歳末見舞金を配布

2法人 計 100,000円

③ 町内団体等が実施する歳末事業への助成

2団体 計 50,000円

④ 歳末相談事業

2回(弁護士、専門相談員等) 64,000円

14. 善意銀行貸付事業

他の援助を受けられない生活困窮者等のため、一時的なつなぎとして当社会福祉協議会独自の資金の貸付を行った。

また、償還金滞納者に対して、債権回収の強化とともに生活困窮出張相談日に生活相談会を開催した。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
相談件数	9件	19件	30件
貸付件数	5件	13件	13件
貸付金額	204,000円	550,000円	398,000円

(生活相談会の開催)

対象者	当日の面接	別日の面接	連絡のみ
20件	0件	0件	1件

15. 心配ごと相談・法律相談事業

(1) 相談事業

毎週木曜日を相談日とし、第2・4木曜日は、法律相談として弁護士により、第1・3・5木曜日は、心配ごと相談として専門相談員、民生委員による相談を行った。

相談名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
法律相談	23日	22日	21日
	98件	91件	76件
心配ごと相談	8日	9日	11日
	8件	9件	16件

(2) 印旛ブロック市町相談事業運営研究協議会

印旛管内の社会福祉協議会が実施する心配ごと相談所の運営上の諸問題について研究協議するとともに、管内社会福祉協議会の連携を密にし、円滑な運営を行うため開催された。(3/11 民生委員児童委員2名参加)

16. 日本赤十字社酒々井町分区事業

赤十字思想の普及に努めるとともに、赤十字事業の基盤である活動資金の募集を地域自治会に協力を依頼した。併せて高額協力者には、団員が訪問による活動資金の募集を行った。また、活動資金募集実績に応じ、日本赤十字社千葉県支部から「優良奉仕団表彰」を受賞した。

(1) 活動資金募集運動(5～6月)実績額

募金名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般協力者	1,153,050円	1,204,950円	1,222,120円
高額協力者	357,000円 個人154件・法人55件	371,000円 個人154件・法人57件	371,500円 個人153件・法人58件

(2) 街頭募金活動の実施

町内4か所で街頭募金活動を実施し、赤い羽根共同募金運動に協力した。

(3) 赤十字奉仕団との連絡調整

- ① 赤十字活動資金募集に係る打合せ会議 (4/24)
- ② 赤十字活動事業参加者募集等打合せ会議 (8/28)
- ③ 社会福祉協議会特別会費募集に係る打合せ会議 (11/29)
- ④ 印旛地区赤十字連絡協議会 (6/21 2/26)

17. 町受託事業

(1) 介護支援ボランティア事業

65歳以上の方が施設等でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進と、いきいきとした地域社会づくりを目的とした事業であり、管理機関としての業務を実施した。

① 介護支援ボランティアの登録並びにカードの交付及びボランティア保険の加入

登録者数	内 訳
34名	男性：13名 女性：21名

② 介護支援ボランティア評価ポイントの管理

活動者数	延べ活動日数	活動実績	評価ポイント数
5名 男性：4名 女性：1名	168日	295回	22,500ポイント

③ 介護支援ボランティア制度説明会及び研修会の開催に協力

開催日時	場 所	参加者数	内 容
3月12日(水) 午後1時30分～	役場分庁舎 多目的室	6名	・介護支援ボランティア制度の説明 ・介護支援ボランティア受入施設実務紹介

(2) 放課後児童クラブ事業

放課後に保護者が就労などにより家庭にいない児童に適切な生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的に、酒々井町から業務を受託し運営した。

※嘱託職員等の雇用、賃金や社会保険等の管理、保育料又は委託料等の収入や事業費支出等の予算管理

- ・児童クラブ名 大ちゃん学童クラブ
- ・所在地 酒々井町尾上2-2 (大室台小学校内)
- ・開所時間 月曜日～金曜日 授業終了～午後7時
土曜日・学校休業日 午前7時30分～午後7時
- ・年間登録児童数 73名
- ・年間開所日数 286日
(内訳) 平日 234日 土曜日 52日

(長期休暇 53日：4月春休み5日、夏休み33日
冬休み6日、3月春休み6日)

- ・支援員数 嘱託職員(常勤4名) 非常勤職員(5名)
(内有資格者5名)
- ・支援員の研修 放課後児童支援員認定資格研修(修了者1名)
- ・行事实施状況 歓迎会、夕涼み会、クリスマス会、ハロウィン、避難訓練、
節分等季節の諸行事を実施した。

18. 県社会福祉協議会受託事業

(1) 生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯等の経済的自立と更生意欲の助長促進を図り安定した生活が営まれることを目的とした貸付を行った。

また、滞納者に対して、生活困窮出張相談日に生活相談会を開催した。

(通 常)

相談件数	貸付件数	貸付金額	貸付資金種別
13件	4件	2,309,123円	緊急小口資金1件 100,000円
			教育支援資金2件 1,792,000円
			総合支援資金1件 417,129円

(コロナ特例債権管理フォローアップ支援)

償還免除申請 意見書作成	償還猶予申請 意見書作成	滞納者への連絡	滞納者への訪問	その他対応
0件	2件	98回	10回	86回

(生活相談会の開催)

該当者	当日の面接	別日の面接	連絡のみ
10件	0件	0件	2件

(2) 日常生活自立支援事業

在宅で日常生活を送る上で、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方の金銭管理、財産管理を行うとともに、関係機関との連絡調整を行った。

また、成年後見制度に関する相談、助言を行った。

相談件数 12件 ・ 新規契約者 4名 ・ 解約者 6名

利用者数	利用者内訳	支援員数 専門員数	支援回数	支援時間	支援内容
27名 (内生活保護 者数18名)	高齢者 17名 知的障がい3名 精神障がい2名 その他 5名	支援員 5名 (内、登録のみ1名)	35回	約53時間	・福祉サービス利用 援助(必須) ・財産管理(25名) ・財産保全(4名)
		専門員 6名	288回	約231時間	

① 生活支援員内部研修の実施

現任・登録生活支援員研修会「成年後見制度利用促進の現状と支援者の視点」受講（オンライン）及び意見交換（12/9 参加者6名〔生活支援員4名、専門員2名〕）

② 担当者会議の開催

専門員間の情報共有を目的に月1回、担当者会議を開催した。（年9回）

19. しすい健康ふくしフェスティバル

地域の住民の健康や福祉に対する意識の高揚を図るとともに、子どもから高齢者までの多世代交流を目的とした「しすい健康ふくしフェスティバル」を町との共催で開催した。

20. 災害（防災）に関する事業

（1）義援金・救援金の受付（日本赤十字社千葉県支部へ送金）

・2024年台湾東部沖地震救援金	1件	30,000円
・令和6年能登半島地震災害義援金（窓口受付）	15件	96,417円
	合計	126,417円

（2）災害時要援護者支援ボランティア会（災援会）の運営

（3）防災講座への協力（主催：酒々井町ボランティア協議会）

日時：3月8日（土）

会場：中央公民館 講堂及び調理室

講師：住みよい酒々井をつくる防災の会

内容：講演「高めよう『防災行動力』」

ワークショップ、グループワーク（防災備蓄品の展示、紹介、炊き出しの試食）

参加者：32名

21. 酒々井町地域福祉推進委員会

令和5年度からスタートした第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進と評価を行うため、19名の推進委員による委員会を開催した。

22. その他

（1）関係機関等との連携

- ① 千葉県社会福祉協議会評議員会 6/26 12/26（書面開催） 3/27
- ② 日本赤十字社千葉県支部部分区長会議 4/19
- ③ 日本赤十字社千葉県支部評議員会 6/4 2/4
- ④ 町社会を明るくする運動推進委員会 6/11
- ⑤ 町空家等対策協議会 11/5 12/20 3/14
- ⑥ 町地域包括支援センター運営協議会 2/25
- ⑦ 町障害者自立支援協議会 3/14
- ⑧ 町地域ケア推進会議 3/17
- ⑨ 町防災会議 3/24

(2) 印旛特別支援学校運営協議会への参加 5/15 11/11 1/30

(3) 生活支援体制整備事業協議体への参加 (7/29 11/27 1/22 3/18)

地域包括ケアシステムの推進に向け、町が設置する生活支援体制整備事業の協議体に参加し、地域福祉推進のための話し合いを行った。

(4) 生活困窮者自立支援事業との連携

- ① 毎月開催される支援調整会議に出席し情報共有を図るとともに、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターと連携して生活困窮者に対して資金の貸付や物品の提供、フードバンクによる食品の提供等の支援を行った。

(支援調整会議：4/9 5/14 6/11 7/9 8/13 9/10 10/8 11/12 12/10 1/16
2/12 3/12)

- ② 生活困窮者の早期発見を目的として、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターによる出張相談が、毎月第1・3火曜日に社協事務室で実施された。また、第1火曜日にはハローワーク成田の就職支援員も同席し就労相談が行われた。

出張相談実施日数：24日 相談件数：47件

(5) フードドライブへの協力

フードバンクちばが実施するフードドライブに協力し、食品の受け取り窓口となって住民から寄附された食料品等を預かり、フードバンクちばへ届けた。

また、生活困窮者や子ども食堂への食品の提供を行った。

寄付受付：58件、1315.5 kg 困窮者等への配布：47件、159.0 kg

子ども食堂への提供：6.2 kg (ジュース、ゼリー・お菓子等)

フードパントリーで活用：米 195.8 kg

フードバンクちばへ送付：954.5 kg (お米、麺、非常用保存食、缶詰、調味料等)

(6) 「フードパントリーin しすい」の開催

物価高騰等で家計負担が大きくなっている中で、生活の不安を軽減し、子育て世代を応援するために、住民から寄附されたお米をはじめとした食料品や文房具を無償で提供した。

実施期間：12月15日(日)～12月26日(木)

対象：中学生以下の子どもを養育する世帯(先着100世帯)

※児童扶養手当受給世帯には、先行して事業を周知した。

配布場所：中央公民館 視聴覚室(15日のみ)、社会福祉協議会窓口

配布物資：白米3kg、お菓子のつかみ取り、文房具、野菜 他

実績：97世帯

令和6年度 デマンド交通(しすいふれ愛タクシー)事業報告

1. しすいふれ愛タクシー運行実績

運行地域 町内全域およびさくら斎場（佐倉市）
日医大千葉北総病院（印西市）、成田赤十字病院（成田市）
運行時間 午前8時から午後5時まで
登録者数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
登録世帯数 (登録率)	3, 426世帯 (33.9%)	3, 377世帯 (35.5%)	3, 320世帯 (33.8%)
登録人数 (登録率)	8, 207名 (40.8%)	8, 091名 (40.2%)	8, 002名 (39.7%)

利用者数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
運行日数	243日	243日	243日
利用者数	11, 351名	11, 347名	11, 038名
1日平均	46.7名	46.7名	45.4名

利用回数（上位3位まで）

【乗車場所】

- ① せんだう 1, 309回
- ② トライアル 257回
- ③ 成田赤十字病院 256回

【降車場所】

- ① しすい整形 1, 040回
- ② 成田赤十字病院 982回
- ③ 京成酒々井駅東口 709回

2. スクールバス運行実績

運行地域 伊籾・伊籾新田地区、上岩橋地区一部、馬橋・ネオポリス地区
運行時間 登校：午前7時20分から午前8時まで
下校：酒々井小学校の下校時刻による

利用者数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
運行日数	200日	200日	196日
利用者数	7, 229名	10, 768名	9, 498名
対象児童人数	28名	39名	34名

3. 利用券販売実績

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般利用券	3, 866冊	3, 855冊	3, 804冊

4. その他

東日本電信電話（株）が提供していたデマンド交通システムのサービス終了に伴い町と協議し、令和6年3月29日（金）より新システムを導入し、令和6年度より本格的に稼働した。

- ・サービス提供事業者：ゼンリン（株）
- ・システム名：スマート・デマンド交通システム

令和6年度事業報告において、社会福祉法第45条の2第2項に規定する附属明細書については、同法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

令和7年5月

社会福祉法人 酒々井町社会福祉協議会